

てとらん TETRAN

てとらん TETRANは、オカリーナアンサンブルのバスパートを演奏しやすくするために開発した、2連管のバスオカリーナです。

右手と右側吹き口で演奏する部分を右管（R）、左手と左側吹き口で演奏する部分を左管と呼ぶことにします。

バスパートは、和音の根音（ルート）を吹くことが多いので、まずハ長調のⅠ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴにあたるド、ミ、ファ、ソの4音の音列（テトラコルド）に対応する3個の指孔を右管に配置しました。クロスフィンガリングを用いれば、Ⅱ＝レの演奏も可能になっています。右手親指で開閉する指孔を、右管裏側に追加し、Ⅵ＝ラまで音域を広げました。右手だけで、ドミ、レファ、ミソ、ファラの音型が簡単に吹けるようになりました。

左管については、通常のオカリーナ演奏の際に負担が大きい親指と小指は楽器を支えるために用いることにしました。

三指で演奏できるソ、ラ、シ、ドの4音の音列（テトラコルド）に対応する3個の指孔を左管に配置しました。クロスフィンガリングを用いれば、シ♭の演奏も可能になっています。さらに、中指指孔の前に小穴を追加することにより、ファ♯の演奏も可能になりました。

この段階で、ハ長調の主要三和音ドミソ、ファラド、ソシレ。ヘ長調の主要三和音ファラド、シ♭レファ、ドミソ、ト長調の主要三和音ソシレ、ドミソ、レファ♯ラ（ファ♯は、右手のクロスフィンガリングでも演奏可能）が容易に演奏できるようになりました。

また、イ短調のラドミ、レファラ、ミソ♯シも演奏できますが、ニ短調のⅤに必要なド♯と、ホ短調のⅤに必要なレ♯が演奏できませんでした。この問題は、右管に小指で開閉する小穴を追加することによって解決することができました。（運指表を参照してください。）

改善の余地は残っていますが、オカリーナアンサンブルで、よく演奏される調のバスパートについては、十分に対応できる楽器が出来上がりました。

【特長】

- ① 持ちやすくなりました。（特に左手小指の負担を軽減しました。）
- ② バス管では大きくなりがちな指孔の直径を小さくしたので、手の小さい方でも演奏できるようになりました。
- ③ できるだけ指孔の数を減らし、バスパートによくあられる音型を吹きやすい運指を工夫しました。
- ④ 2連管なので、重音演奏もできます。
- ⑤ フクロウのデザインで、フクロウの鳴き声のようによく響く音色になっております。

TETRA 運指表 1

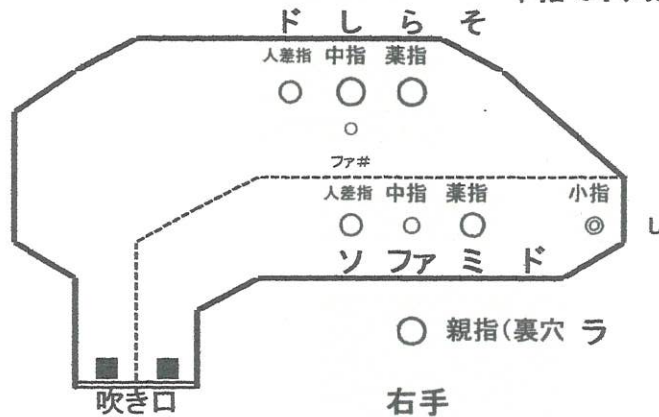
			I		III	IV	V						
			し	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ				
			B	C	C#	D	Eb	E	F	F#	G	G#	A
右手 R	親指(裏穴)		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
	人差し指		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	
	中指		●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	
	薬指		●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	
	小指(小穴)		●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	

			そ	ら	し	ド			
			F#	G	G#	A	Bb	B	C
左手 L	人差し指		●	●	●	●	●	○	
	中指小穴		●	○	○	○	○	○	
	中指		●	○	○	○	○	○	
	薬指		●	○	○	○	○	○	



楽器の持ち方

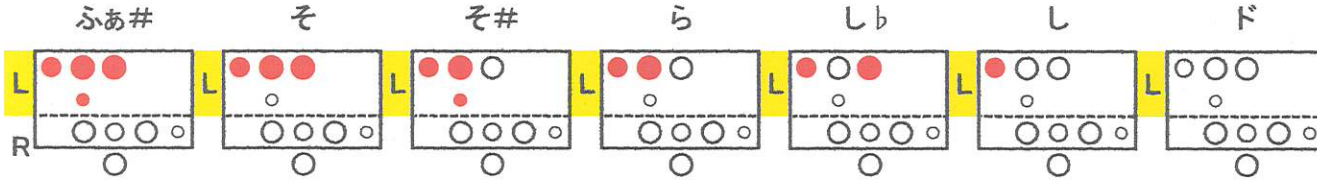
左手 ★左手の運指は、ふつうのオカリーナとほぼ同じです。
中指で小穴まで閉じると、最低音のファ#になります。



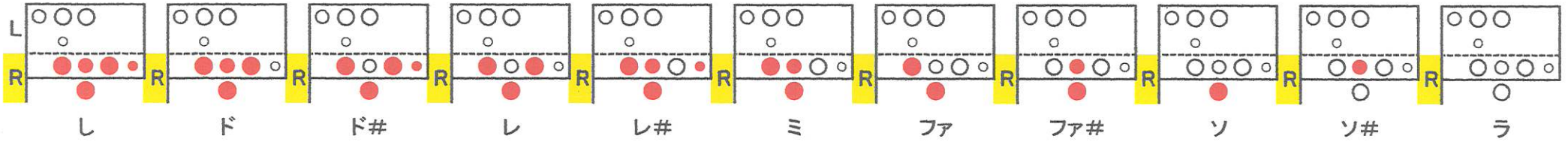
★右手小指の小穴まで全部閉じると低い「し」になります。
小指の小穴だけを開いた状態で
薬指の孔を開くとミ
中指の孔も開くとファ
人差し指の孔も開くとソ
親指の孔(裏穴)まで開くと、最高音のラになります。

TETTRAN運指表 & 練習曲

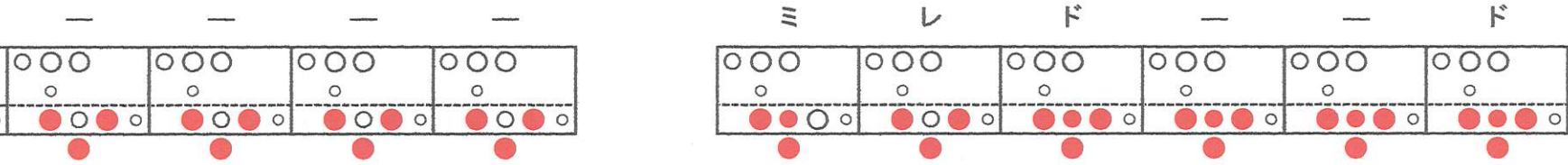
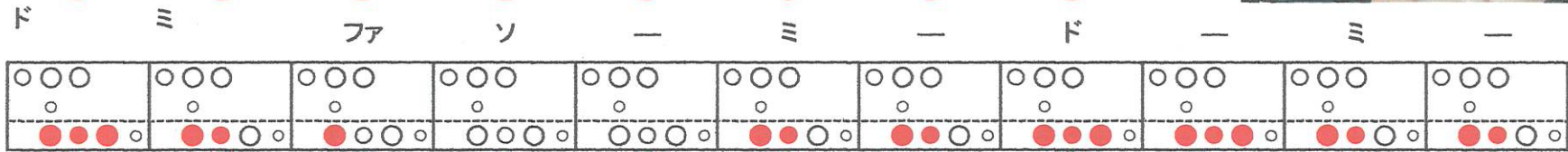
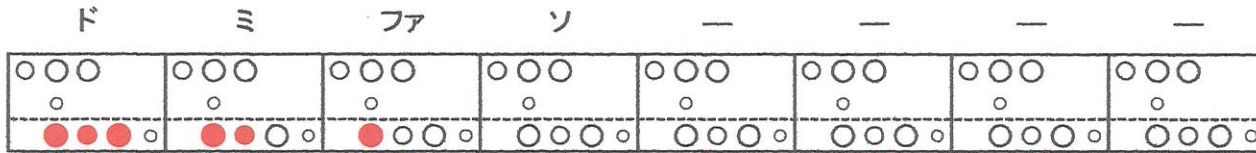
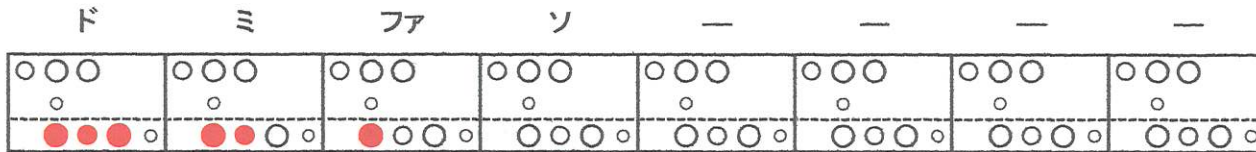
● = 指孔を閉じる



★ひらがなの階名は、カタカナの階名より1オクターブ低い音です。



聖者の行進



★

ミ — ソ — ソ ファ — — — ミ ファ

ソ — ミ — ド — レ — ド — — — — —

★ここで終わる

L ド ド ら ド — — — —

L ド ド ら ド — — — —

L レ — — — — ミ レ ド — — ド

★に戻る